

## 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

児童質問紙（中の点線は全国平均）より



本校6年生児童の結果についてご報告します。

### 【結果から】

- 点線部分が全国の平均値なので、学力や関心、習慣といった全ての面で全国平均を上回っているという、とても良好な結果となった。
- 学力で見ると、「国語B」「算数B」の主に国語・算数を活用する問題が全国平均を大きく上回っており、国語・算数への関心の高さと相乗効果をなしていると考えられる。学習したことを生活や日常に活かそうとする意欲を、今後も支援していきたい。
- 学校のきまりを守るなどの「規範意識」や、「自尊感情」にかかわる調査も良好である。この意識や感情の高さを活かし、引き出した指導を続ける。
- 全国平均よりは高いものの、全体から見ると、「学習習慣」と「総合的な学習への関心等」が今後の課題となる。「国語A」「算数A」の主に知識の確実な定着を図るためにも、普段の授業や家庭学習との連携で「学習習慣」をより向上させることが大切となる。「総合的な学習への関心等」については、一人ひとりが自ら疑問や課題をもったことを話せたり追究できたりする場面を、発展的な学習も含めて導いていくことで向上できると考える。